

作成日：2026年 4月 17日

2015年～2026年の期間内に本事業所の定期健康診断を受診された方へ

産業医科大学では、以下の研究を実施しております。この研究は、事業場が保有する既存の情報の提供を受けて実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年3月23日制定 令和3年6月30日施行）」により、対象となる皆様のお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。本研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

職業性ストレスと生体指標に関する長期的健康アウトカムの追跡調査

2. 研究期間

研究機関の長の許可日～2029年3月31日

3. 研究機関

産業医科大学 医学部 公衆衛生学

4. 研究責任者

産業医科大学 公衆衛生学 教授 中田 光紀

5. 研究の目的と意義

〔目的〕本研究は、ある企業の従業員の皆様を対象に、定期健康診断データ、炎症マーカー（CRP 他）等の生体指標データ、就労状況に関する人事情報（在職・退職等）を事業場から提供を受け、職業性ストレスや生活習慣と長期的な健康転帰との関連を明らかにすることを目的とします。

〔意義〕本研究により、職業性ストレスの健康影響に関する知見が、短期的な生体指標の変動にとどまらず、長期的な健康転帰（生活習慣病の進行、休職・退職等）にまで拡張されます。これにより、産業保健の現場における健康管理や職場環境改善のための具体的な知見を提供し、働く方々の健康保持増進に役立てることが期待されます。

6. 研究の方法

本研究では、対象企業の協力を得て、当該企業が実務上保有する以下の情報について、匿名化の処理を施した上で提供を受けます。（1）定期健康診断データ（身体測定、血圧、血液検査、尿検査等、問診票、職業性ストレス簡易調査票、生活習慣に関する調査票の結果）、（2）生体指標データ（高感度 CRP 等の炎症マーカー）、（3）就労状況に関する人事情報（在職・休職・退職の別等）、（4）

基本属性情報（年齢、性別、所属部署等）。

提供を受けた匿名化済みの情報をもとに、職業性ストレスや生活習慣等の要因と長期的な健康転帰との関連を、ロジスティック回帰分析や生存時間分析等の多変量解析を用いて検討します。なお、本研究で新たに採血等の侵襲的行為を行うことはありません。

7. 個人情報の取り扱い

本研究で使用する情報は、事業場において匿名化の処理を施した上で提供を受けます。そのため、研究者が個人を特定することはできません。この研究で得られたデータは、学内の規定に従い、原則として、資料（文書、数値データ、画像など）は、当該論文等の発表後 10 年間保存された後、研究責任者の管理の下、電子媒体のものは復元不可能となるよう消去・廃棄を行い、情報が外部に漏れないように対処します。また利用拒否の申し出があった場合には、その時点までに得られたデータを同様の措置で廃棄します。

8. 得られた情報の利用目的の範囲

- ・学術発表など研究目的：あり
- ・第三者提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・海外への提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・公的データベース等への登録：なし

9. 問い合わせ先

産業医科大学 公衆衛生学 教授 中田 光紀 (093-691-7244)

10. その他

本研究に参加することによる直接的な利益はありません。また経済的負担や謝礼もありません。本研究は、文部科学省科学研究費助成事業補助金（26K21715）、令和 8 年度革新的自殺研究推進プログラム助成金および本学運営費（講座研究費）により実施されます。本研究の利益相反については、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。

以上